



護
國

『戦後六十五年の終戦記念日に思う』

宮司 小川純生

戦後六十五年の夏を迎えた終戦記念日に際し、ご神前に謹みて皇室の弥栄と、先の大戦において祖国存亡の危機に、命を盾に敢然と

戦い護國の御靈となられた英靈に対し、報恩感謝と御靈の安鎮、国家国民の安全、世界和平を改めて祈念申し上げました。

また最愛の肉親を失い、塗炭の苦しみの中一家の柱となり支えられたご遺族の皆様に対し、深甚なる敬意と感謝を捧げます。

さて、現状の日本を見る時英靈が命を賭して守った祖国日本が、存亡の危機に瀕しているといつても残念ながら過言ではありません。現政権の、内政外交特に安全保障国家にとって最も重要な防衛が、危機的な状況にあります。

皆様ご承知の通り、日本及び東南アジア諸

国の安全の要である沖縄普天間基地問題であります。

地元の安全上の問題で、辺野古の移転を十数年をかけ地元と合意し、自民党政権と米国政府が最終合意に達した矢先、政権交代により政権与党となつた民主党が、最低でも県外と断言しながら結果的には地元県民の心を翻弄し、米国との国家間の合意を一方的に破棄しました。

こういった行為は国際的には全くありえず、日本の国際的な信用を著しく失墜せしめました。

さらに言えば、自衛隊は、装備外形上は、まさに軍隊であります。

しかし、憲法上交戦権、集団的自衛権が禁止されており、現状では国家国民を自国で

御祭神數

当神社に御鎮祭申し上げております
御祭神は四万九千七百二十二柱です。

ることの出来ない国これが我が国日本であります。

日本の安全は、日米安保条約で成り立っています。

日本を取り巻く現状は、隣国の北朝鮮が弾道ミサイルの開発、核開発に成功し核配備を着実に推し進めています。

さらには、中国の軍事費が十年連続で2ケタ台二年連続で世界二位15%9兆円超に達し（実際には、この1.5倍を中国政府が公式に認めています）台湾海峡における軍事的優位の確立、東シナ海の日本海への侵略、尖閣列島を含む沖縄諸島の領有権主張、米国の動きをけん制封鎖する動きを加速しています。

また内政に於きましても民主党のマニフェストに無い国家国民の主権、人権を犯し日本の伝統である、麗しき家族愛の絆を引き裂き日本解体に繋がる三悪法

一、永住外国人参政権

二、選択的夫婦別姓制度

三、人権侵害救済機関設置（人権擁護法案）

先の参議院選挙での、与党の過半数割れでひとまず回避されましたことを安堵致しております。

このように日本の現況は、内憂外患と危機的な状況にあることを多くの国民に共有して頂き、現政権の政策政権運営に対し厳しく注視し、国民の意思が国政に反映されることこそ英靈の「みこころ」遺訓を継承することだと思います。

食と兵と信

崇敬奉賛会会長 中山 紘治郎



はいえ、忸怩たる思いに駆られます。愛媛銀行では今年の九月に、「三樹会」という勉強会を立ち上げました。「三樹（さんじゅ）」とは、中国の故事で「管子」の中に出てくる言葉です。一年の計あれば、一年で収穫できる穀物、十年の計は十年で大きくなる木、一生の計画を立てるのであれば、人材を育てることが重要と説き、目先のことにつわれず、先のことを見据えなさいと教えています。この会は、愛媛県内の若手経営者が集まり、人徳を学び、経営者としての資質を高め、地域の発展に貢献していくことを目的としております。

デフレ・円高等、このところ日本経済を取り巻く環境は、厳しさを増すばかりで、多くの経営者の方々が、頭を悩ませていらっしゃることでしょう。私も経営者として、当行の行く末に心をくだいておりますが、今さらながらに痛感いたしますのは「企業は人材である」ということです。

会では、「論語」を基本とした人間教学の習得と、日本の伝統的な芸術文化にも触れながら、その神髄をも学びます。物事の原理原則を学び、議論していくことが、これから日本の行く末や自分達の会社の舵取りの為、大切な「道するべ」になると考えているからです。

ところで、これから学ぶ論語の中に、弟子の子貢が孔子に、政治の要諦について尋ねるくだりがあります。「子貢・政を問ふ。子曰く、食を足らし、兵を足らし、民は之を信にせず。子貢曰く、必ず己むことを得ずして去らせば、斯の三の者に於て、何をか先にせんと。曰く、兵を去らんと。子貢曰く、必ず己むことを得ずして去らば、斯の二の者に於て何を

か先にせんと。曰く、食を去らん。古自り皆死有り。民信無くんば立てずと。」

要約しますと、政治の要諦は、第一に食生活の充実、次に軍備をととのえること、そして国民の信頼を得ることであります。

その三つの内、やむを得ず一つを除くとしたら、孔子は軍備を捨てよ、と答えています。

残った二つ（食と信）とも保持できない事態となつた時は、人間は皆死ぬものだから「食を捨てなさい。『信』が人間から無くなると、人間は存在することが出来ない。」と答えられています。つまり、食を過大視してはならない。人の道が信じられず、その道がすたれるようだと、世の中はおしまいだ、と説かれているのです。これぞ大識見ではな

いでしようか。

どんなに世の中が変わろうとも「道徳心」は変えられません。何を良いと思い、何を悪いと思うか、本来の価値観や信念は何千年という時を経ても変わることがありません。人の心をつかみ、「信」を得ることは簡単なことではありません。私は、この「三樹会」から、愛媛の財界を背負い、あるいは政治に关心を持つ人材が育ち、我々の地域社会の基礎となる人たちが輩出されることを心から祈念致します。

中山紘治郎氏略歴

昭和四十年四月 入行

各支店長を歴任

平成四年二月

取締役本店営業部長

平成六年二月

常務取締役

平成十年四月 専務取締役（代表取締役）

平成十六年四月 頭取

小川宮司奉職以来、念願であります、

『愛媛縣護國神社崇敬奉賛会』

二十数年の時を経て、

「英靈のご遺徳とみこころを後世に伝え、感謝と報恩の誠を尽くす」

という趣旨のもと、これに賛同していただける、心同じくする方々が集いその第一歩目となる、

愛媛縣護國神社崇敬奉賛会第一回理事会（設立総会平成二十二年七月九日、於国際ホテル松山）が開催されました。

中山頭取は、一企業経営者の枠を越え、國のあり方、國民のあり方について、常に考えられている方です。政治、經濟の混乱は人の問題、いわば教育の問題と捉え、「教育勅語」に代表される伝統的な日本の教えの復活が、混乱から日本を救う鍵であるとのお考えをお持ちです。論語をはじめ漢学の勉強にもご熱心であり、行内では安岡正篤氏の「朝の論語」の勉強を朝礼時にを行い、専門家を交えた複数の勉強会も主宰されています。内外問わず、日本の伝統文化の素晴らしさをしつかり後世に伝えたいと、あらゆる機会に発信、実践されています。

このようなお考えのもと、國家國民のため散華された英靈の鎮まります靖國神社、護國神社に対する熱い思いで、この度愛媛縣護國神社崇敬奉賛会の設立に多大なる御尽力を賜り、会長に就任頂きました。心より感謝と御礼を申し上げ、ここにご紹介致します。

(宮司記)

(会長 中山紘治郎 愛媛銀行頭取)



設立総会

当社は毎年多くの方々にご参拝を戴いております。

しかし、急激な生活様式の変化により、その根幹となる、

「家族祭祀・伝統文化の継承」

という、一番大切な部分が衰退の一途を辿っているのが実情です。

これは、核家族化や生活様式が欧米化してきなことを失いかけています。

たこにもよりますが、それ以上に一番大切なことを失いかけています。

それは、「日本人である」という『誇り』です。

我々は唯一单一民族である大和民俗。

日本の歴史は建国からでも、二千六百七十年

という長きに亘っています。

戦後、GHQによりそれらをも解体すべく、進められた政策が未だに浸透し、そして浸食

しているのです。

日本は、かつてない大戦から目覚しい復興をとげ、そして今や経済大国として世界の中枢を担っています。

その根底には、

「大和民俗の伝統と誇り」

があつたからこそではないでしょうか?

明治天皇は、その御製で、

「いかならむ事にあひてもたわまぬは　わが
敷島の大和だましひ」

と詠されました。

日本人が本来もつべきその「日本人である」という『誇り』

この『誇り』の継承こそ英靈のみこころである我が国日本を再生すべく、愛媛縣護國神社崇敬奉賛会により多くの皆様方にご入会戴きますよう、そしてそれを堅持すべく活動戴ることを願ってやみません。

つきましては、別紙振込用紙に、ご住所、ご氏名、お誕生日（または創立年月日）をご記入の上、お申込み下さい。



懇親会

愛媛縣護國神社崇敬奉賛会趣意書

愛媛縣護國神社は、明治三十二年の御創建以来、愛媛県ご出身の国に殉じられた英靈の奉慰顯彰に勤め、健全な国民精神の再興と日本の悠久の繁栄と世界の恒久平和を日々祈念し、広く県民の崇敬を受けてまいりました。

しかし、戦後六十多年経過した今日、

ご遺族・戦友会等の高齢化や、核家族化等による生活様式の変化が、家庭祭祀・伝統文化継承の断絶を招き、日本人の精神文化の急激な衰退により危機に瀕しています。

この現状を鑑み、国のため尊い命を捧げられた英靈のご遺徳「みこころ」を後世に伝え、感謝と報恩の誠を尽くすべく、ここに愛媛縣護國神社崇敬奉賛会を設立することとなりました。

つきましては、ご遺族・戦友会・友好団体の皆様はもとより、崇敬者各位、県内の政界・財界の皆様から広くご理解ご賛同を賜り、是非とも本会にご入会下さいますようお願い申し上げます。

愛媛縣護國神社崇敬奉賛会

会長 愛媛銀行頭取 中山絢治郎

名譽理事 護國神社宮司 小川 純生

愛媛縣護國神社崇敬奉贊會特典

各 特 典	正 会 員	贊 助 会 員	特 別 会 員	法 人 会 員	備 考
会 費(年額)	2,000円以上	5,000円以上	10,000円以上	100,000円以上	
会員対象	個 人	個人・団体	個人・団体	団 体	
社報の送付	○	○	○	○	年2回
神札の授与	紙 札	木 札	木 札	木 札	
会員の祈願	誕生月に安泰祈願	誕生月・創立月に安泰祈願	誕生月・創立月に安泰祈願	創立月に安泰祈願	
主祭事の案内	○	○	○	○	春秋大祭・終戦記念日祭等
総会の開催					単位会の長案内
講演会の開催	案 内	案 内	案 内	案 内	
玉串拝礼	○	○	○	○	拝殿での玉串拝礼

「戦友団体等による慰靈祭」

平成二十二年

四月十七日 愛媛甲飛会

五月五日 三重海軍航空隊甲種

第十一期子科練習生

五月一五日 愛媛江ノ内を詠る

卷之三

『遺族会等による慰靈祭』

永代祭祀料基金奉納者御芳名

平成二十二年

四月一日 西条市中川分会

四月三日 西条市橋河

四月五日 西安市國安

四月九日雪

卷之三

四月十七日 松山市正岡

四月十八日	西条市三芳
四月二十一日	今治市朝倉
四月二十六日	今治市吉海町
四月二十六日	西条市吉井
五月二十日	四国中央市土居町長津
五月二十一日	松山市遣児有志の会
六月十六日	今治市宮窪町
六月二十七日	富山丸
七月八日	南宇和郡愛南町一本松文部
平成二十二年五月	（永代祭祀料基金奉納者御芳名）
一、五万円也	今治市山口　山之内スマ子様
一、武万円也	宇和島市三間町　富永　忠之様
全　　六月	
一、武万円也	松山市高野町　向井スガ子様
全　　七月	
一、武万円也	八幡浜市日土町　坂野　通利様
全　　八月	
伊予市尾崎	山邊　榮子様

平成二十二年(四月)春季慰靈大祭奉仕者

(敬称略)

遺族会代表献供奉仕者

婦人部 松山市中村 白石世津子

児上浮穴郡久万高原町 小池数雄

献茶菓奉仕者(茶道裏千家淡交会松山支部)

岡田智社中 松山市磯河内 岡田さなえ

加藤宗教社中 宇和島市坂下津 二宮政美

献花奉仕者(愛媛県華道会)

聴春流 松山市二番町 黒川真奈美

敬神婦人会献供奉仕者(愛媛縣護國神社敬神婦人会)

大洲市敬神婦人会 大洲市八多喜町 岡文子

大洲市敬神婦人会 大洲市平野町野田 矢野郁子

献吟奉仕者

九日(靈臺奉安祭・宵宮祭)

清吟堂吟友会 渡部麗月

清吟堂吟友会 遠藤清真

清吟堂吟友会 栗林清典

十日(大祭)

清吟堂吟友会 宮内麗育

清吟堂吟友会 吉野清萌

清吟堂吟友会 大西清山

尺八献奏者 山崎清洋

都山流大師範

九日(靈臺奉安祭・宵宮祭)

村上清籌他愛媛縣護國神社獻謡會員有志
〔献謡〕

秋の大祭がすむと、すぐそこに「七五三」がき

ます。

私どもは遠い祖先のむかしから、いろいろな良い伝統を歴史の中に受け継いできました。

その中に「七五三祝い」があります。人生の節目(着帯・出産・七夜・初詣・食初め・誕生・節句等々)すべて「人生儀礼」の中に含まれてゐます。

愛媛縣護國神社では、十一月を「七五三お祝いの月」といたしています。お子様親御様ともども参拝し、「親の恩」「神の恵み」に感謝いたしました。

男女児とも一歳を綿着、三歳を髪置、男児五歳を袴着、女児七歳を帶解きとして、数え年にお参りしますが、ご家庭のご都合によって「数え年」「満年齢」どちらでも、また、(生)にこだわりません。

また例年の通り「装道きもの学院」の皆様が十一月の十三日(土)、十四日(日)、十五日(月)の三日間、ご参拝の皆様の便宜をはかつて、お召物の着付けをして下さいます。精々ご利用の程をお待ち申しております。

世の中に思ひはあれど子をこぶる
思ひにまさる思ひなきかな

(紀貫之)

正式参拝

☆ 平成二十二

年六月五日、

西予市野村町

出身、元関脇

玉春日現片

男波親方が、

日本会議愛媛

県本部総会開催前に正式参

拝されました。



☆ 平成二十二

年八月六日、

日本会議全国

組織強化本部

長 多久善郎

氏が、「日本

会議愛媛県松

山城北支部總

会」前に正式参拝されました。



☆ 平成二十二

年八月六日、

日本会議全国

組織強化本部

長 多久善郎

氏が、「日本

会議愛媛県松

山城北支部總

会」前に正式参拝されました。